

Dell MD シリーズストレージアレイ アップデート情報

メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

△ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 Dell MD ストレージレイ — 情報アップデート.....	4
VSS および VDS のサポートの廃止.....	4
VDS の廃止.....	4
VSS の廃止.....	4
SUSE Linux Enterprise Server 12 で fdisk コマンドが 2 つのリンクを作成する.....	5
set diskPool 構文における問題.....	5
Red Hat Enterprise Linux 7 での RDVD の使用.....	5
データ保証機能.....	5
2 困ったときは.....	6
関連マニュアル.....	6
デルへのお問い合わせ.....	6
お使いのシステムのサービスタグの位置.....	7
マニュアルのフィードバック.....	8

Dell MD ストレージレイ — 情報アップデート

① | **メモ:** 本書の情報は、Dell MD34xx および MD38xx シリーズのシステムに適用されます。

本書は、Dell MD ストレージレイのマニュアルに記載されていない追加情報を提供します。新しいストレージレイを使用、またはレイのソフトウェア、ファームウェア、ホストオペレーティングシステムをアップグレードする前に、本書に記載されている情報をお読みいただく必要があります。詳細に関しては、Dell.com/powervaultmanuals にアクセスしてください。

トピック：

- VSS および VDS のサポートの廃止
- SUSE Linux Enterprise Server 12 で fdisk コマンドが 2 つのリンクを作成する
- set diskPool 構文における問題
- Red Hat Enterprise Linux 7 での RDVD の使用
- データ保証機能

VSS および VDS のサポートの廃止

デルは、VSS および VDS プロバイダのサポートを終了いたします。

VDS の廃止

Windows Server 2012 からは、仮想ディスクサービス (VDS) インタフェースが Windows Storage Management API (SMAPI) に置き換えられます。Microsoft の VDS からの移行に伴い、デルも VDS プロバイダから移行いたします。デルの直接的な代替製品はありませんが、VDS 機能は現行の SMI-S プロバイダを使用する SMAPI から提供されます。

VSS の廃止

デルは、ボリュームシャドウサービス (VSS) プロバイダのリリースを終了しました。Dell VSS プロバイダを使用して作成されたシャドウコピーは、Windows ネイティブ VSS プロバイダによって認識されませんが、Dell VSS プロバイダを使用して作成されたシャドウコピーは、Windows OS に対し、仮想ディスクとしてただちに使用することが可能です。Windows を使用してドライブ文字を割り当て、データに対するアクセスまたは管理を行うことが出来ます。デルでは、今後は Microsoft ネイティブプロバイダを使用することをお勧めします。

Dell VSS プロバイダを使用して作成したデータを回復させたい場合、Dell VSS プロバイダがまだインストールされていれば、Dell プロバイダを使用して作成されたシャドウコピーの回復に Dell プロバイダを使用し、その後 Microsoft ネイティブ VSS プロバイダを使用して仮想ディスクまたはデータの今後のシャドウコピーを作成することが推奨されます。これにより、今後は Microsoft プロバイダを使用してデータを回復させることが可能になります。

SUSE Linux Enterprise Server 12 で fdisk コマンドが 2 つのリンクを作成する

SUSE Linux Enterprise Server 12 では、fdisk コマンドが各デバイスをパーティション化して下位互換性を維持するために 2 つのリンクを作成します。

```
/dev/mapper; one with the /dev/mapper/mpath<x>-part<y> /dev/mapper/mpath<x>_part<y>
```

ただし、リンクはどちらもマルチパスデバイスの同じパーティションに属します。

set diskPool 構文における問題

コマンドラインインタフェース (CLI) は、reservedPhysicalDiskCount の代わりに reservedDriveCount パラメータを実行します。

このコマンドの正しい構文は、次のとおりです。

```
set diskPool [diskPoolName]
(addDrives=[trayID1,drawerID1,slotID1 ...
trayIDn,drawerIDn,slotIDn] |
addCapacity=(diskPoolCapacity))
[owner=(0| 1)]
```

Red Hat Enterprise Linux 7 での RDVD の使用

Red Hat Enterprise Linux 7 向けのリソース DVD (RDVD) をインストールする前に、互換ライブラリアドオンを追加する必要があります。

データ保証機能

データ保証 (DA) 機能は、ストレージシステム全体のデータ整合性を高めることができます。DA により、ストレージアレイでは、ホストと物理ディスクとの間でのデータの移動中に発生する可能性のあるエラーをチェックできるようになります。データ保証機能を有効にすると、ストレージアレイによりエラーチェックコード (巡回冗長性検査 (CRC) と呼ばれます) が仮想ディスク内のデータの各ブロックに付加されます。データブロックの移動後、ストレージアレイでこの CRC コードが使用され、送信中にエラーが発生したかどうか判断されます。破損している可能性があるデータは、ディスクに書き込まれることもホストに返されることもありません。

MD34/38 シリーズアレイのデータ保証機能には、データ保証に対応するハードドライブも、Data Assurance Premier Feature Key (データ保証プレミア機能キー) の購入およびアレイへのインストールも必要です。

ディスクが対応しているかどうかは、Modular Disk Storage Manager (MDSM) で確認できます。物理ディスクの情報を MDSM でチェックした際、Physical Disk capabilities (物理ディスク機能) の下に「Data Assurance (DA) (データ保証 (DA))」と表示されていれば、このディスクには T10 保護情報 (PI または T10 PI) 機能があります。これによりコントローラからチェックサムが送信され、データの整合性が保護されます。

ハードドライブがこの機能に対応していることに加え、この機能を使用するには、アレイで Data Assurance Premier Feature (データ保証プレミア機能) を有効にする必要があります。

Data Assurance Premier Feature Key (データ保証プレミア機能キー) はオプションであり、このストレージアレイのブランドなしの OEM バージョンでのみ利用できます。

データ保証に対応するドライブを、データ保証機能を有効にせず使用しても問題ありません。また、データ保証機能が有効でない場合に、データ保証に対応するドライブを、データ保証機能がないドライブと交換することもできます。

困ったときは

トピック：

- [関連マニュアル](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)
- [お使いのシステムのサービスタグの位置](#)
- [マニュアルのフィードバック](#)

関連マニュアル

- ① **メモ:** すべてのストレージマニュアルについては、Dell.com/powervaultmanuals にアクセスし、システムのサービスタグを入力してお使いのシステムのマニュアルを入手してください。
- ① **メモ:** Dell OpenManage マニュアルは、Dell.com/openmanagemanuals にアクセスしてください。
- ① **メモ:** ストレージコントローラ向けの全マニュアルについては、Dell.com/storagecontrollermanuals にアクセスしてください。

製品のマニュアルには次が含まれます。

- 『Dell PowerVault MD3460/MD3860i/MD3860f Storage Arrays Getting Started Guide』(Dell PowerVault MD3460/MD3860i/MD3860f ストレージアレイ - はじめに) — システム機能、システムのセットアップ、および技術仕様の概要を提供します。このマニュアルはお使いのシステムにも同梱されています。
- 『Dell PowerVault MD3460/MD3860i/MD3860f Storage Arrays Owner's Manual』(Dell PowerVault MD3460/MD3860i/MD3860f ストレージアレイオーナーズマニュアル) — システム機能についての情報が記載されており、システムのトラブルシューティング、およびシステムコンポーネントの取り付けまたは交換について説明されています。
- 『Rack Installation Instructions』(ラックの取り付け手順) — ラックへのシステムの取り付けが説明されています。この文書は、お使いのラックソリューションにも同梱されています。
- 『Dell PowerVault MD Series Storage Arrays Administrator's Guide』(Dell PowerVault MD Series ストレージアレイ管理者ガイド) — MDSM GUI を使用したシステムの設定および管理についての情報が記載されています。
- 『Dell PowerVault MD 34XX/38XX Series Storage Arrays CLI Guide』(Dell PowerVault MD 34XX/38XX シリーズストレージアレイ CLI ガイド) — MDSM CLI を使用したシステムの設定および管理についての情報が記載されています。
- 『Dell PowerVault MD3460/MD3860i/MD3860f Storage Arrays Deployment Guide』(Dell PowerVault MD3460/MD3860i/MD3860f ストレージアレイ導入ガイド) — SAN アーキテクチャでのストレージシステムの導入に関する情報が記載されています。
- 『Dell PowerVault MD34xx and 38xx Series Support Matrix』(Dell PowerVault MD34xx および 38xx シリーズサポートマトリクス) — ストレージアレイの互換性マトリクスに関する情報が記載されています。

デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、梱包内容明細書、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 Dell.com/support にアクセスしてください。
- 2 お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
- 3 カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。

- a **Enter your Service Tag (サービスタグの入力)** フィールドに、お使いのシステムのサービスタグを入力します。
 - b **Submit (送信)** をクリックします。
- さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
- 4 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a 製品カテゴリを選択します。
 - b 製品セグメントを選択します。
 - c お使いの製品を選択します。さまざまなサポートのカテゴリのリストが掲載されているサポートページが表示されます。
 - 5 Dell グローバルテクニカルサポートへのお問い合わせ先詳細：
 - a [Global Technical Support \(グローバルテクニカルサポート \)](#) をクリックしてください。
 - b **Contact Technical Support (テクニカルサポートに連絡)** ページには、Dell グローバルテクニカルサポートチームへの電話、チャット、または電子メール送信のための詳細が記載されています。

お使いのシステムのサービスタグの位置

お使いのシステムは一意のエクスプレスサービスコードおよびサービスタグ番号によって識別されます。エクスプレスサービスコードおよびサービスタグは、システムの前面、背面で情報タグを引き出して確認します。または、システムのシャーシに貼られたステッカーに情報が記載されている場合があります。この情報は、デルが電話によるサポートのお問い合わせを適切な担当者に転送するために使用されます。

お使いのシステムは一意のエクスプレスサービスコードおよびサービスタグ番号によって識別されます。エクスプレスサービスコードおよびサービスタグは、システムの前面で情報タグを引き出して確認します。または、システムのシャーシに貼られたステッカーに情報が記載されている場合があります。この情報は、デルが電話によるサポートのお問い合わせを適切な担当者に転送するために使用されます。

お使いのシステムは一意のエクスプレスサービスコードおよびサービスタグ番号によって識別されます。エクスプレスサービスコードおよびサービスタグは、シャーシラベルに記載されています。また、システムのシャーシに貼られたステッカーに情報が記載されている場合があります。この情報は、電話によるサポートのお問い合わせを、デルが適切な担当者に転送するために使用されます。

お使いのシステムは一意のエクスプレスサービスコードおよびサービスタグ番号によって識別されます。エクスプレスサービスタグはシステムの上部に、エクスプレスサービスコードはシステムの背面にあります。この情報は、電話によるサポートのお問い合わせを、デルが適切な担当者に転送するために使用されます。



図 1. お使いのシステムのサービスタグの位置

マニュアルのフィードバック

任意の Dell マニュアルページでマニュアルを評価、またはフィードバックを書き、**Send Feedback** (フィードバックの送信) をクリックしてフィードバックを送信することができます。